

# 令和5年度 在宅チーム医療を担う多職種研修 実施報告

## 1 実施概要

### ①研修タイトル

第10回 在宅チーム医療を担う多職種研修

高齢者虐待の対応について ～複眼的視点で事例をとらえる～

### ②日時

令和5年12月11日(月) 19時～21時

### ③開催方法

集合形式 (会場:都筑区役所 6階大会議室)

### ④内容

#### ○講義

高齢者虐待の現状や基礎知識を学ぶとともに、実際に直面した際、どのような視点を持ち対応すればよいか、多職種間でのグループワークを通して学びました。

#### ○グループワーク

虐待事案に直面した際、各職種の立場からどのような対応ができるのかを2つの事例を通して、複眼的な視点(ストレングスの視点、問題・リスクの視点)を学びました。各グループの話し合いの内容を共有し、視点や考え方の補足等を講師が行いました。

### ⑤講師

東京都立大学名誉教授 副田 あけみ 氏

### ⑥参加者 54名

【内訳】

医師( 2 )人	病院看護師( 1 )人	訪問看護師( 3 )人	歯科医師( 3 )人	薬剤師( 7 )人
栄養士( 9 )人	歯科衛生士( 9 )人	リハ職( 5 )人	医療ソーシャルワーカー( 1 )人	行政職員( 9 )人
ケアマネジャー( 7 )人	介護福祉士( 2 )人	ホームヘルパー( 1 )人	施設介護員( 3 )人	
地域包括支援センター職員( 7 )人	包括以外のケアプラザ職員( 1 )人	社会福祉協議会職員( 9 )人		
その他の職種(相談員、管理者)( 2 )人				



## 2 参加者等の意見

- ・高齢者虐待の実態とそれに関する対応を学ぶことができました。
- ・問題・リスクの視点とストレンクス視点を捉える、複眼的視点が重要だという事が理解できました。
- ・グループワークの際、それぞれ職種が違うので、様々な視点からの意見を聞くことで、色々な気づきが出来ると思いました。
- ・困難事例というフィルターを通さずに、多職種で支援できるように活かしていきたいです。

## 3 研修の成果・課題

### ①成果

- ・高齢者虐待とは何か、虐待が疑われる案件に遭遇した際に、どのような視点を持つべきかを医療・介護関係者で学ぶことができました。
- ・研修を通して多職種連携の重要性も共有することができ、高齢者が在宅で安心して暮らし続けるための権利擁護の推進に効果があったと考えます。

### ②課題

- ・コロナ禍が明けて3年ぶりの対面形式での開催でしたが、参加人数がコロナ禍前の半数程度となり、より参加しやすい研修手法を検討していく必要があります。

## 4 次年度について

### ①テーマ

カスタマーハラスメントについて(詳細未定)

### ②実施時期

11月～12月頃

## R5年度 在宅チーム医療を担う多職種研修アンケート集計結果

回答数:45人(参加数:45人(+行政9人)、回収率:100%)

※記述式部分は一部抜粋(類似意見は要約の上で、( )内に件数を記載)

### 1. あなたの属性を教えてください。

職 種	人数	割合(%)
医師	2	4.4%
歯科医師	3	6.7%
薬剤師	7	15.6%
病院看護師	1	2.2%
訪問看護師	3	6.7%
栄養士	0	0.0%
歯科衛生士	0	0.0%
リハビリ職	5	11.1%
医療ソーシャルワーカー	1	2.2%
ケアマネージャー	7	15.6%
介護福祉士	2	4.4%
ホームヘルパー	1	2.2%
施設介護員	3	6.7%
地域包括支援センター職員	7	15.6%
包括以外のケアプラザ職員	1	2.2%
社会福祉協議会職員	0	0.0%
その他	2	4.4%

【内訳】相談員、管理者

45

勤務場所	人数	割合(%)
病院	2	4.4%
診療所	5	11.1%
薬局	7	15.6%
居宅介護支援	4	8.9%
訪問系サービス	9	20.0%
通所系サービス	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護	3	6.7%
入所施設	4	8.9%
地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	8	17.8%
その他	3	6.7%

【内訳】相談室、認知症グループホーム、グループホーム

45

在宅医療・介護の経験年数	人数	割合(%)
5年以下	11	24.4%
6～10年	10	22.2%
11～15年	6	13.3%
16～20年	3	6.7%
21年以上	14	31.1%
未記入	1	2.2%

45

多職種研修の参加の回数	人数	割合(%)
初めて(1回目)	13	28.9%
2回目	6	13.3%
3回目以上	25	55.6%
未記入	1	2.2%

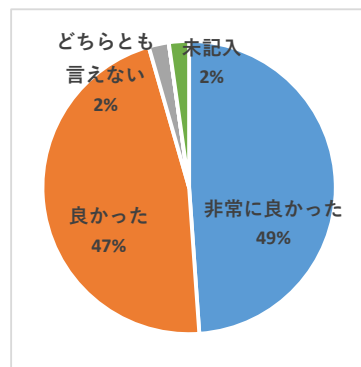
45

## 2. 研修について

### (1) 本日の研修はいかがでしたか

研修について	人数	割合(%)
非常に良かった	22	48.9%
良かった	21	46.7%
どちらとも言えない	1	2.2%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
未記入	1	2.2%

45



### 「非常に良かった」「良かった」の理由

- ・新たな視点・考えが得られた。(3)
- ・高齢者虐待の実態とそれに関する対応を学ぶことができた。(2)
- ・非自発的クライアントに対する介入を学べた。
- ・虐待の早期発見を重視し疑う気持ちが強くなるが、ストレングスも含めて複眼的に捉える必要を学んだ。
- ・問題点しか見えない事例に対して「ストレングス視点」を持つということを学ぶことができた。
- ・具体的な例での学びが出来たこと
- ・今まさに対応している高齢者虐待の支援に、すぐ使えると思います。
- ・自施設の研修に取り入れ職員の教育に使用したい。(2)
- ・今後の支援に活かせる
- ・普段行っていることが可視化された。
- ・わかりやすかった。虐待ケース以外でも、ストレングス視点とコンプリメントを活用できると思った。(2)
- ・講師の副田先生のお話がとてもわかりやすかった。
- ・色々な意見を聞くことができた。
- ・自分とは違う職種の方と話をすることができたこと、「良いことをみつける視点」ということが新しいと思った。
- ・コンプリメントの練習等、グループワークがよかった。(3)
- ・他職種の交流を持つことが出来た。
- ・悪くない関係、話し合える関係作りは、改めて大事だと気づきました。
- ・良い点を見つけて関係を作るのは、虐待の対応に関係なく大事だと思った。
- ・ストレングス、コンプリメントという言葉を知った。(学ぶことができた。)(3)
- ・ストレングスから入ることの方が入りやすい。
- ・ストレングスを見つけることで加害者が怖くなることをごく最近体験したばかりで、その理由がわかった。
- ・ストレングスとコンプリメントという新しい視点では、実際良い関係を作るきっかけになると思う。
- ・ストレングスとコンプリメントの考え方を知ることができた。虐待する理由、共感を考えていきたい。
- ・限られて時間だったのでしかたないのですがGW以後の時間が駆け足で残念でした。ストレングス視点からとらえる事例について大変参考になりました。
- ・ストレングスという言葉を再認識できた。

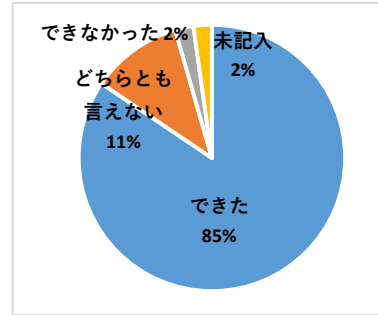
### 「どちらとも言えない」の理由

- ・講義で「もつとも」と思えない点があった。

(2)本日の研修で、複眼的な視点で事例をとらえることについて理解できましたか

複眼的な視点で事例をとらえる理解	人数	割合(%)
できた	38	84.4%
どちらとも言えない	5	11.1%
できなかった	1	2.2%
未記入	1	2.2%

45



「できた」の理由

- ・グループワークの際、それぞれ職種が違うので、様々な視点からの意見を聞くことができた。(5)
- ・事例にて練習できたから
- ・事例を読みこんでいく時、色々な側面から考えられるようになった。
- ・実際の事例でグループワークをしたので、より理解が深まった。
- ・勉強になりました。皆様とつながれてよかったです。
- ・実際のケースにあてはめて、リアルに具体的に理解できたので
- ・リスクからではなく出来ていることから、という視点を今後の虐待検討に取り入れたいと思いました。
- ・リスクだけあげるのは、問題解決をする際の妨げになる。
- ・ストレングス視点とコンプリメントという考え方について理解できた。(2)
- ・ストレングス視点から、先に検討すると良いということ
- ・問題・リスクの視点とストレングス視点を捉える、複眼的視点が重要だという事が理解できた。
- ・高齢者虐待だけでなく、様々な事柄に使用できると思いました。
- ・最初に良いところに着目すると、養護者と話し合える関係性が築ける。
- ・ストレングスから事例をとらえることで、関係性構築のための糸口になることを感じました。
- ・ストレングスが表面的過ぎて信頼関係が築けるのかに疑問を感じたが、演習をして使い方が理解できた。
- ・ストレングスから入ることで、リスク等も見える。
- ・ストレングスを意識した視点をしっかりとるようにしていきます。
- ・ストレングス視点では、事実(聞く力)+支援者の前向きなとらえ方も必要
- ・恐らく今まで何となくやっていたことを知識として構築できた。
- ・ストレングス、コンプリメントを初めて学びました。

「どちらとも言えない」の理由

- ・ストレングスとコンプリメントについて少しわかった気がするが、もっと事例を重ねなければならないと感じる。
- ・「できた」なのですが、さらに自分の学びをまだ深めていきたいので
- ・システム理論、円環的因果律で事例解釈する方法をもう少し聞きたかった。

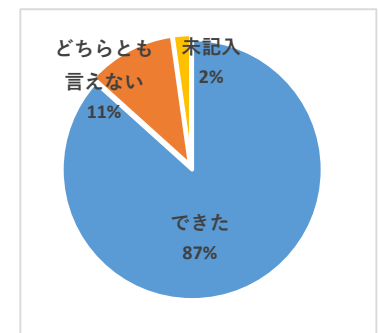
「できなかった」の理由

- ・未記入

(3)本日の研修で、他職種での意見交換を経て、多職種連携の必要性・重要性について気づきを得ることはできましたか

多職種連携の必要性・重要性についての気づき	人数	割合(%)
できた	39	86.7%
どちらとも言えない	5	11.1%
できなかった	0	0.0%
未記入	1	2.2%

45



### 「できた」の理由

- ・グループワークの際、それぞれ職種が違うので、様々な視点からの意見を聞くことができた理由で、色々な気づきが出来ると思った。(5)
- ・自分とは違う意見を違う視点で話を聞くことができ、気づく事(視野が広がる事)が沢山あった。(6)
- ・他職種の方が日々接していらっしゃる事例に触れることが出来ました。
- ・意見交換時、職業柄が出てると思った。同職種だけでは出てこないだろう意見もあり勉強になった。(2)
- ・色々な立場の方がそれぞれ違う視点から介護者さんのことを考えることができるので、よりよいサービスができるのではないかと感じました。
- ・他職種の方との顔合わせができてよい。(3)
- ・初回にあった研修生同士だったが、グループワークがすみやかであった。
- ・わかりやすかった。
- ・普段の研修とは異なる内容で、ためになった。
- ・新しい視点で学ぶことができ、今後の業務に取り入れていきたいと思う。
- ・声のかけ方には様々な視点があり、聞く力の大切さを振り返りました。

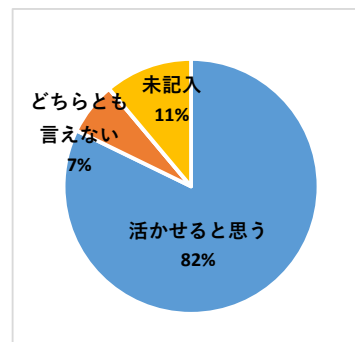
### 「どちらとも言えない」の理由

- ・他職種連携の必要性・重要性については十分に認識しているが、今回の研修で連携に関する新しい気づきはなかったように思う。
- ・あまり意見交換ができなかった。

### (4)本日の研修を受けて、今後の業務に活かせると思いましたか

今後の業務に活かせること	人数	割合(%)
活かせると思う	37	82.2%
どちらとも言えない	3	6.7%
活かせると思わない	0	0.0%
未記入	5	11.1%

45



### 「活かせると思う」の理由

- ・いつもの患者さんとの会話にも取り入れられそう。(4)
- ・日々の活動の中で、虐待予防に生かしていきたい。
- ・虐待ケース以外でも、ストレンクス視点とコンプリメントを活用できると思った。
- ・表に出てこない薬で困っていることを聞くのに役立てそうです。
- ・家族との話の中で使いたい。
- ・初めての家族の方と話す時の参考になった。
- ・現状進行中の対応に活かします。
- ・今虐待対応しています。ストレンクス視点、コンプリメントを意識し対応したいと思います。
- ・再度研修を受け、重要さに気づけた。少しの異変でも相談出来るようにしたい。
- ・他の職員にも同じ研修をしようと思う。
- ・事業所内のカンファレンスで活用していきます。
- ・近々のカンファレンスのネタにできます。
- ・困難事例というフィルターを通さずに、多職種で支援できるように活かしていきたい。
- ・ストレンクス視点を心掛けたいと思います。
- ・養護者にもコンプリメントの視点は大切。
- ・ストレンクスとコンプリメントの考え方を知ることができた。虐待する理由、共感を考えていきたい。
- ・手が出てしまう介護者への対応はなかなか解決できない。どうすればよいでしょう？

### 「どちらとも言えない」の理由

- ・現在のところ、患者家族と関わりが少ないため
- ・ストレンクスが表面的な枠を出ない感があったため、グループワークの後で少し実践に使える気がした。

### 3. 次年度以降、本研修で開催を希望するテーマがあればご記入ください。

- ・ 認知症について
- ・ ハラスメント
- ・ 事例を中心にグループワークのかたちをとってほしい。内容の実際は、ケアの実際に生きるものなので
- ・ ①引き続き虐待 ②生活困窮への対応 ③地域支援
- ・ ケアマネジャーがケアプランを考える視点(必要なケア、点数の配分の考え方等)を教えてください。
- ・ グループディスカッションできることは、いつも良いと思います。
- ・ サービス拒否をする家族への対応(近隣の住民や知りあいは心配している)をどのようにをアプローチすればよいか日々困っている。
- ・ ダブルケア、トリプルケア
- ・ 虐待事例以外の障害と介護のはざまについて

### 4. 研修に対するご意見・ご感想があればご記入ください。

- ・ スムーズな進行でためになった。
- ・ 開催していただきありがとうございます。お疲れさまでした。
- ・ 10回の年数を積み重ねることが大切。準備大変だと思いますが、今後もよろしくお願いいたします。
- ・ グループワークのある研修は、人と人を繋ぐので継続したいです。
- ・ 投薬でもストレングスとコンプリメント生かしていきたいと思います。
- ・ 対面で意見交換が出来たので、有意義に思いました。来年度も実施していただきたいと思います。区役所の方もグループに参加していただけたらと思いました。
- ・ もう少し早い時間帯だと参加しやすい。(2)
- ・ 声が時折、聞き取りにくいことがあった。
- ・ もう少し時間をかけて知りたいことでした。
- ・ 時間がなくて残念でした。今「虐待」について各職で「発見・通報」に務めるよう言われています。その人の家庭の背景などを知らずに(それこそストレングスを考えずに)通報や行政が関与すれば「困難事例」とレッテルを貼られてしまいます。先生はどのようにお考えでしょうか？